



## スズラン：鈴蘭<キジカクシ科・スズラン属>

山地や高原の草地に生える多年草。春から初夏にかけ芳香のある純白の花を咲かせる。葉は2枚が根生し長さ10~18<sup>センチ</sup>の長楕円形。果実は直径6~8<sup>ミリ</sup>の球形で赤く熟す。よく庭で植えられ栽培されるのはヨーロッパ原産のドイツスズラン。北海道では低地の原野に多く自生。全草有毒だが根茎は薬用にされる。和名は鈴に似た<sup>つゆしやうり</sup>広鐘形の花になぞらえ付けられたと言われ、キミカゲソウ(君影草)の別名を持つ。・・・▼4月の例会は「ゆとりの森」。山は、生まれたての淡い緑に覆われ、織りなすグラデーションが素晴らしい。思わず両手を広げ深呼吸。▼木陰にひっそりと咲いていたのはスズラン。幾人もの人が身をかがめ、見つめた瞳には優しさが灯ったような。花言葉は「再び幸せが訪れる」。皆から慕われる可憐な美しい花。

～北広島町南方 2023・4月～